



令和3年度 認定指定郡山B講座 1月23日に開催される

新型コロナウイルスオミクロン株の第6波が押し寄せる中、郡山駅前のビッグアイで令和3年度の認定指定郡山B講座が開催されました。計画当初は感染も下火になっていたため会場でのハイブリッド開催を予定していましたが、驚くほどの急激な拡大により講師と発表学生4名、学術委員5名とスタジオ的な雰囲気でもオンライン配信にて開催されました

第1部は、明治国際医療大学鍼灸学部はり・きゅう学講座講師の田口玲奈先生による「女性と鍼灸治療」がご自宅からのリモート講演がありました。

第2部は、福島県立医科大学医学部地域・家庭医療学講座の豊田喜弘先生による「患者中心の医療の方法」がロールプレイングを併せて発表されました。



特別講演1 「女性と鍼灸治療」 明治国際医療大学 鍼灸学部 講師 田口玲奈 先生

月経について関連疾患も含め、学生さんの参加者が多いこともあり、基本的なところから、科学的に月経に関する疾患の発生や緩和のメカニズム、東洋医学的な診断（舌診・脈診・腹診）による症例なども提示いただき、さらに田口先生のご自身のご対応まで惜しみなくご披露いただき、ボリュームたっぷりの内容でお話いただきました。



スクリーンに映し出される講師の田口先生と右は座長の三瓶先生



第2・3部の講師の豊田先生



ロールプレイングする学生さんたち

特別講演2・3 「患者中心の医療の方法 理論 実践」 福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座 豊田喜弘 先生

鍼灸師の目線で、良好な患者と医師関係に焦点を当てた診療モデルとして患者中心の医療（PCM）をご紹介いただきました。初対面から全人的にそして共通理解につなげ、鍼灸師として患者様の心のツボも探りながら、相互理解に基づいて治療内容を決定していく大切さを再認識することができ、患者中心の医療のスピリットと魅力を知るお話でした。

後半では福島医療専門学校の学生さんが、ロールプレイを用いて問診の流れを具体的に提示したミニレクチャーを交え、PCMを学んだ成果を披露してもらいました。

その中での気づきは、学生さんだけでなく、ベテランの治療師にも貴重なものになったことと思います。実際に過去の患者様のことであったり、現在関わっている患者様のことであったり、たくさんの質問が寄せられ、興味関心の高さが感じられました。